

目次

I 章 はじめに	
1 ガイドライン作成の経緯と目的	2
2 ガイドラインの使用上の注意	4
3 エビデンスと推奨の強さ	6
1. エビデンスの強さ	6
2. 推奨の強さ	7
4 用語の定義と概念	9
II 章 背景知識	
1 血尿	14
はじめに	14
1. 症候	14
① 顕微鏡的血尿	14
② 肉眼的血尿	15
2. 病態生理	15
① 疾病に伴う血尿	15
② 治療に伴う血尿	16
3. 評価と検査	16
① 尿検査	16
② 血尿の重症度	17
③ 内視鏡検査	17
④ 画像診断	17
4. 治療	17
① 薬物療法（膀胱内薬物投与）	18
② 非薬物療法	19
まとめ	20
2 下部尿路症状	22
はじめに	22
1. メカニズム，病態生理	22
① 排尿症状	23
② 蓄尿症状	23
③ 排尿後症状	23
④ その他の症状	23
2. 評価，身体所見と検査	24
① 排尿記録	24
② 身体所見	24
③ 尿検査	24
④ 血液検査	24
⑤ 残尿測定	25
⑥ 尿流動態検査	26
⑦ 膀胱鏡検査	26
⑧ 超音波検査	26
3. 診断と治療	26
① 排尿症状（尿排出症状・尿閉）	26
② 蓄尿症状（頻尿・尿失禁）	30
まとめ	34
3 上部尿路閉塞・腎後性腎不全	36
はじめに	36
1. 病態生理	36
① 腎前性腎不全	36
② 腎性腎不全	36
③ 腎後性腎不全	36
2. 上部尿路閉塞の原因	37
3. 評価と検査	37
4. 治療方法	38
① 尿管ステント	38
② 腎ろう	39
③ 回腸導管，尿管皮膚ろう	39
④ 尿路閉塞解除をしないで対症療法のみで経過をみるという選択	40
まとめ	40
4 膀胱部痛・膀胱けいれん	41
はじめに	41
1. 病態生理	41
① 膀胱の神経支配	41
② 膀胱部痛・膀胱けいれんの原因	41
2. 評価	42
① 膀胱部痛の原因の評価	42
② 痛みの程度と評価	42
3. 治療	42

① 薬物療法	42	2. 管理の実際	61
② 神経ブロック	42	① 尿道留置カテーテル	61
5 陰部浮腫	44	② 膀胱ろうカテーテル	62
はじめに	44	③ 尿管ステント	62
1. 病態生理	44	④ 腎ろうカテーテル	62
① 心機能障害	44	⑤ 3way 尿道留置カテーテル	62
② 腎機能障害	44	まとめ	63
③ 低アルブミン血症	44	8 性機能障害	64
④ 深部静脈血栓症 (deep vein thrombosis ; DVT)	44	はじめに	64
⑤ 抗がん剤副作用	45	1. 病態生理と原因	64
⑥ リンパ浮腫	45	① 手術	65
2. 鑑別診断	45	② 放射線治療	65
① 陰嚢水腫	46	③ テストステロン低下と抗がん剤治療	65
② 精巣上体炎	46	④ その他の薬剤	66
③ 陰茎の炎症	46	⑤ 心因性	66
④ 嵌頓包茎	46	2. がん患者に生じた ED の評価と検査	67
3. 評価と検査	47	① 問診	67
4. 治療	48	② バイアグラテスト	68
まとめ	48	③ テストステロン値の測定	68
6 尿路感染症	50	④ 特殊診断検査	68
はじめに	50	3. がん患者に生じた ED に対する治療	68
① 緩和ケアを受けている患者の尿路感染症の特徴	50	① 十分なカウンセリング	68
1. 病態生理	50	② PDE-5 阻害薬	68
2. 原因菌 (病因)	51	③ 陰圧式勃起補助器具	68
3. 病態の評価	51	④ 陰茎海綿体注射	69
4. 症状と検査	52	⑤ テストステロン補充療法 (TRT)	69
① 症状	52	4. 女性がん患者における性機能障害	69
② 尿検査	52		
③ 検体の採取	52		
5. 治療の解説	52		
① 単純性尿路感染症	53		
② 複雑性尿路感染症 (カテーテル非留置症例)	55		
まとめ	55		
7 尿路カテーテル管理	58		
はじめに	58		
1. 尿路カテーテルの適応	58		
① 尿道留置カテーテル	58		
② 膀胱ろうカテーテル	59		
③ 上部尿路カテーテル	60		
		Ⅲ章 推奨	
		1 血尿	72
		2 下部尿路症状 (尿閉)	77
		3 下部尿路症状 (頻尿・尿失禁)	79
		4 上部尿路閉塞・腎後性腎不全	82
		5 膀胱部痛・膀胱けいれん	85
		Ⅳ章 資料	
		1 作成過程	88
		1. 概要	88
		2. 臨床疑問の設定	88
		3. 系統的文献検索	88

4. ガイドラインと教科書	88	3 今後の検討課題	96
5. 妥当性の検証	89		
6. ガイドライン作成者と利益相反	90	索引	99
2 文献検索式	93		